

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 071

事務事業名称	交通安全施設整備事業												
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、交通安全対策特別交付金等に関する政令				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	歩行者、車両等問わず、該当道路を通行される方			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	交通事故が発生する			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	道路環境が整備され、歩行者、自転車、バイク、車両の交通事故がなくなる。				
事業概要	地元の要望等により、地域の交通環境の実態を調査し、地元の意向を踏まえて適切な交通安全対策を立案する。 立案した交通安全対策に基づき、道路柵などの交通安全施設の新設を行うとともに道路反射鏡や区画線の新設、更新を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	道路環境が整備され、歩行者、自転車、バイク、車両の交通事故がなくなる。	立案した交通安全対策に基づき、交通安全施設の新設及び区画線の新設、更新を実施。	地元の要望等に応じて、実態の調査及び適切な交通安全対策を立案する。	
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数	立案した交通安全対策に対する整備完了率 【算出式:整備完了件数/立案件数×100】	交通安全対策の立案件数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	目標 (見込み)	実績	達成度
	単位	件	%	件
	指標値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
目標	1,150 1,100 1,050 1,000	80 80 80 80	500 500 500 500	
実績	1,080 1,088 1,173	73 75 71	403 311 239	
達成度	88%			
	89%			
	48%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.13
再任用	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,465	16,222	10,842		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,465	16,222	10,842		
	物件費計	98,064	54,155	47,153	57,000	82.7%
	歳出計	115,529	70,377	57,995		
歳入	国庫支出金	15,000	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	29,400	0	0	0	
	その他	53,441	52,392	48,645	53,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	97,841	52,392	48,645	53,000	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	223	1,763	0	4,000	

## 5. 総括的分析

総括的分析	全ての要望に対し、早急に調査を実施し、市の基準等を基に検討を行い、要望の可否または代替案の提案を要望者に行い、速やかな交通安全対策を実施した。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、可能な限り、交通安全対策の早急な整備を行う。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 087

事務事業名称	めいわく駐車防止事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1995(H7)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市めいわく駐車防止に関する条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の道路を通行する歩行者及び自転車利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	迷惑駐車により通行が妨げられている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	めいわく駐車台数がなくなり、スムーズな道路等の通行ができています。				
事業概要	枚方市駅周辺の「重点地域」において交通指導員2人を配置し、めいわく駐車をしようとする者に指導・助言及び啓発を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
		めいわく駐車台数がなくなり、スムーズな道路等の通行ができています。	めいわく駐車をしようとする者及び現にしている者に対し、指導・助言及び啓発を行う。	枚方市駅周辺を対象に、交通指導員による、めいわく駐車防止活動を実施する。
指標設定	指標説明	悪質・長時間駐車台数	指導・助言及び啓発件数	めいわく駐車防止活動延べ日数
		単位 台	単位 件	単位 日
	指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	0 0 0 0	4,800 3,500 3,400 3,300	137 137 137 137
達成度	1 1 0	6,958 5,451 4,889	120 93 96	
		56%	130%	

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.34
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,233	2,200	2,656		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,233	2,200	2,656		
	物件費計	9,372	8,015	8,345	9,100	91.7%
	歳出計	11,605	10,215	11,001		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	9,372	8,015	8,345	9,100	

## 5. 総括的分析

総括的分析	めいわく駐車への指導巡回により、駐車台数は減少してきており、悪質な長時間駐車はなかった。引き続き、枚方市駅周辺のめいわく駐車防止に努める。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、効率的・効果的なめいわく駐車防止活動を実施し、スムーズな道路通行に寄与する。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 088

事務事業名称	岡東町自動車駐車場施設維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1994(H6)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自動車駐車場条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の店舗等の利用者、枚方市駅から公共交通機関に乗り換えの利用者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市駅周辺には、駐車場をもたない店舗や医院等が多く、これらの店舗等を利用する際に駐車する場所がない。また、店舗等の前に駐車すると迷惑駐車になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市駅周辺において駐車でき、枚方市駅周辺の迷惑駐車がなくなる。				
事業概要	岡東町自動車駐車場(収容台数 自動車 241台(定期160台・一時81台)・自動二輪車 64台(定期49台・一時15台) 立体自走式6層(地下1階、地上4階)鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 敷地面積2,100.21㎡、建築面積1,578.91㎡、延床面積7,387.74㎡の施設の運営と維持管理。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		岡東町自動車駐車場の適切な維持管理により、めいわく駐車が無くなり、周辺の交通が円滑に流れている。				岡東町自動車駐車場の施設保全や保守点検等を行う。				
指標設定	指標説明	各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検の実施回数				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
		達成度	63	82	74		12	12	12	
達成度					100%					

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.53
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,589	9,428	4,140		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	57	0	0		
	人件費計	3,646	9,428	4,140		
	物件費計	228,446	193,851	155,787	208,000	74.9%
	歳出計	232,092	203,279	159,927		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	79,925	82,480	91,768	97,990	
	市債	0	0	0	0	
	その他	50	1,889	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	79,975	84,369	91,768	97,990	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	148,471	109,482	64,019	110,010	

## 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は、新型コロナウイルス感染状況は落ち着いてきたことから、市民の外出する機会が増え、また、今年度より、事前精算機やキャッシュレス化が導入され、利用者の利便性向上が図られことなどから、使用料の増収につながったものと思われる。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も安定した施設運営を図るために、指定管理者が予定している利用者の利便性向上に繋がる提案事業について、確実に履行していただくよう指導・監督を行う。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 089

事務事業名称	開発交通関係協議・指導事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2005(H17)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開発地域の周辺に居住する市民			
	サブターゲット	開発行為等を行う予定の事業者			
	ターゲットが抱える課題	開発による交通の流れの変化に伴う事故の発生やめいわく駐車が増加がある。			
	ターゲットが抱える課題	工事車両による事故が発生する。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切な開発指導により、工事車両による事故や開発による交通環境の変化による事故やめいわく駐車が発生せずに住民が安心して暮らしている。				
事業概要	開発行為等の申請に対して、交通安全施設・自動車駐車場・自転車置場等の設置及び工事期間中の工事車両等の安全対策について協議・指導を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						各申請に対し、適切に協議・指導を実施する。				開発行為等の申請を受け付ける。				
指標設定	指標説明					申請に対する協議・指導率 【算出式:協議・指導件数/申請受付件数×100】				開発行為等の申請件数				
	指標種類					単位	%	単位	件					
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					100	100	100	100	300	300	300	300
	達成度					0%				0%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.55
再任用	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,380	6,262	7,318		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,380	6,262	7,318		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	6,380	6,262	7,318			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

## 5. 総括的分析

総括的分析	全ての申請に対し、遅滞なく審査を行い、協議・指導を行った。
-------	-------------------------------

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請に対し、遅滞なく協議・指導を行う。



# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 090

事務事業名称	交通安全啓発事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路を通行する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	交通ルールやマナーの遵守について学ぶ機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題	信号のない横断歩道において、横断者がいるのに一時停止しない車が多い。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民等が交通ルールやマナーへの理解を深めて遵守し、交通の秩序維持することが交通事故の防止につながることを認識することにより、交通事故をなくし、安全な交通社会を実現できている状態。				
事業概要	<p>交通事故を1件でも減らすように、以下交通安全啓発活動等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春、秋の全国交通安全運動(啓発パレード、駅前キャンペーン、自転車マナーアップキャンペーン)</li> <li>・交通安全市民大会(市民)</li> <li>・子どもの交通安全教室(保育所・幼稚園・小学校)</li> <li>・交通安全運転講習会(市民)</li> <li>・高齢者自転車教室</li> <li>・公民連携による広報活動。特に、「信号のない交差点での横断歩道における交通ルールの周知徹底」</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民等が交通ルールやマナーへの理解を深めて遵守し、交通の秩序を維持することが交通事故の防止につながることを認識することにより、交通事故をなくし、安全な交通社会を実現できている。				アウトプット (活動結果)	市民が、交通安全に関して触れる機会が増える。				インプット (活動)	交通安全啓発活動等を実施する。			
	指標説明	市内の交通事故発生件数				交通安全教室参加人数				交通安全教室開催数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	1,150	1,100	1,050	1,000	21,000	21,500	22,000	22,500	180	190	200	210		
	実績	1,080	1,088	1,173		0	6,524	6,509		0	66	88			
	達成度	88%				30%				44%					

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	6,460	7,150	12,109		
	会計年度任用職員	672	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,132	7,150	12,109		
	物件費計	1,330	5,146	6,769	8,515	79.5%
	歳出計	8,462	12,296	18,878		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	361	1,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	361	1,000	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,330	5,146	6,408	7,515	

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染状況は落ち着いてきたことから、小学校（歩行・自転車）の交通安全教室や、春と秋の全国交通安全運動では啓発パレードや交通死亡事故被害者慰霊献花式を実施するなど、交通啓発活動を実施することができた。</p> <p>また、保育所（園）や幼稚園への交通安全啓発DVDの貸し出しや、企業からの寄付を基に、高校生が作成した交通安全啓発幕やチラシを市内の路上や店舗に設置するなどの交通啓発活動を実施し、交通ルールやマナーの周知に努めた。</p>
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、効果的な交通安全啓発活動を実施していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 092

事務事業名称	放置自転車等管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自転車等の放置防止に関する条例及び同施行規則等、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域を通行する人			
	サブターゲット	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の所有者			
	ターゲットが抱える課題	鉄道駅周辺に放置自転車等があり、通行者の妨げとなっている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	放置自転車等を移送し保管場所において保管することにより、鉄道駅周辺をスムーズに通行することができている。また、保管自転車についても所有者への返還までの間適切に管理できている。				
事業概要	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の保管及び返還を行う。また、引取りのない自転車はリサイクルや売却処分を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		保管している放置自転車等について、適切に返還を実施し、引取りのない場合はリサイクルや売却処分を実施する。	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の保管を行う。
指標設定	指標説明	放置自転車等返還台数	放置自転車等の保管台数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	単位 台	単位 台
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
達成度	142%		138%

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,748	3,929	2,734		
	会計年度任用職員	120	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,868	3,929	2,734		
	物件費計	10,314	9,021	10,014	10,084	99.3%
	歳出計	14,182	12,950	12,748		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,076	686	1,098	1,890	
	市債	0	0	0	0	
	その他	287	199	109	160	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,363	885	1,207	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	8,951	8,136	8,807	8,034	

## 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、外出者が増えたことから、放置自転車の撤去・移送台数が増加したと思われる。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、放置自転車等の適正な保管及び返却手続きを行い、引き取りの無い車両については売却手続きを行うなど、効率的な管理運営を図っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 093

事務事業名称	放置自転車対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自転車等の放置防止に関する条例及び同施行規則等、自転車の安全利用の促進および自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域を通行する人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	放置自転車により円滑な通行が妨げられることにより、交通安全の確保、災害救援の通行機能に支障が生じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通安全の確保、災害救援の円滑化及び通行機能の維持を図り、もって良好な都市環境を保持する。				
事業概要	鉄道駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車、原動機付自転車(50cc以下)の指導・警告・移送業務を行う。(13駅:樟葉駅、牧野駅、御殿山駅、枚方市駅、枚方公園駅、光善寺駅、香里園駅、宮之阪駅、星ヶ丘駅、村野駅、長尾駅、藤阪駅、津田駅周辺)				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		交通安全の確保、災害救援の円滑化及び通行機能の維持を図り、もって良好な都市環境を保持する。				放置禁止区域内での放置自転車等に対し、適切に指導・警告・移送を実施する。				自転車等放置禁止区域を対象に、放置自転車・原動機付自転車の対策事業を実施する。			
指標設定	指標説明	放置禁止区域内からの移送台数				放置禁止区域内で放置自転車等の指導・警告を行った台数				対策事業の延べ実施日数 (枚方市内の鉄道駅13駅周辺にて各々実施した日数の合計)			
		単位		台		単位		台		単位		日	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1,900	1,800	1,700	1,600	12,000	11,900	11,800	11,700	1,600	1,600	1,600	1,600
実績	1,012	681	933		10,879	7,086	8,764		1,293	1,026	1,057		
達成度	145%				126%				134%				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,865	4,557	1,484		
	会計年度任用職員	480	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,345	4,557	1,484		
	物件費計	36,903	29,219	30,157	32,600	92.5%
	歳出計	42,248	33,776	31,641		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	36,903	29,219	30,157	32,600	

## 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染状況が落ち着き、市民の外出機会が増えたことから放置自転車の移送台数などは一時的に増加したが、長年の地道な活動により、放置自転車の減少につながっている。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、地道な指導や移送業務を実施し、道路などの公共空間の安全な通行の確保に努める。

事務事業名称	有料自転車駐車場施設維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自転車駐車場条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	鉄道駅まで自転車を利用する人、鉄道駅13駅周辺の店舗などを自転車で利用する人			
	サブターゲット	駐輪場を持たない鉄道駅13駅周辺の店舗など			
	ターゲットが抱える課題	自転車駐車場の確保 (老朽化などに伴う突発的な補修が発生し、自転車駐車場の利用ができなくなること)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車駐車場の安定した管理運営を行うことで放置自転車等がなくなり、周辺の通行がスムーズにできている。</li> <li>・自転車駐車場の計画的な維持補修がなされ、利用者が安全・安心に施設を利用することができる。</li> </ul>				
事業概要	<p>鉄道駅13駅の周辺にある20箇所の有料自転車駐車場の運営を指定管理者により行う。</p> <p><b>【拡充】</b>          有料自転車駐車場については、建設から約30年が経過していることから老朽化が進んでおり、現状では計画的な改修計画がなく、設備が破損するたびに修繕を行う事後対応を行っており、その結果一時的に利用ができなくなり利用者サービスの低下につながる。          このことから、利用者の利便性向上及び安全・安心な施設利用を図るため、自転車駐車場(建築物5箇所)の保全計画を策定し、計画的に施設の改修を行う。          なお、保全計画は、現在の「枚方市市有建築物保全計画」の次期改定時に統合する方向で庁内協議を進める。</p> <p>1. 施設保全計画調査業務(有料自転車駐車場)          有料自転車駐車場及び自転車保管所のうち、建築物(複層式の駐車場)のある5施設(枚方市駅東・枚方市駅西・枚方公園・光善寺・香里園)の調査業務委託を実施し、令和5年度より計画的に予防保全型の修繕を実施し、適切な施設の維持管理を実施する。          ・施設保全計画調査業務委託(R4年度)          (施設調査・施設健全度判断・施設改修計画)          ・有料自転車駐車場施設改修工事実施(R5年度以降)</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		有料自転車駐車場施設の適切な維持管理により、放置自転車がなくなり、周辺の通行がスムーズにできている。				有料自転車駐車場施設の施設保全や保守点検等を行う。							
指標設定	指標説明	各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 <b>【算出式:決算額/当初予算額×100】</b>				必要な保守点検の実施予定回数							
	指標種類	減少することが良いとされる指標				単位	回						
	指標数値					R2	R3	R4	R5				
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
	実績					97	100	100		12	12	12	
達成度					0%								

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00

附属機関委員	0.00
--------	------



(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,024	5,736	12,109		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,024	5,736	12,109		
	物件費計	300,232	320,591	314,483	318,437	98.8%
歳出計		305,256	326,327	326,592		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	242,201	250,500	273,599	300,140	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	242,201	250,500	273,599	300,140	
一般財源（物件費に充当されるもの）		58,031	70,091	40,884	18,297	

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせてきたことから、使用料収入は前年度より増加したが、新しい社会生活の定着に伴い、コロナ禍前の水準に戻ることは、困難であると考えている。</p> <p>また、指定管理期間の最終年度であることから、次年度以降の指定管理者の公募を実施し、利用者の利便性向上につながる新たな提案を基に選定委員による審査を実施し、新指定管理者の選定を行った。</p>
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度からは、新たな指定管理者による利用者の利便性向上に繋がる新たな提案を基に、自転車駐車場の安定した管理運営を継続する。

事務事業名称	公共交通環境整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名	5-1.公共交通環境の整備									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2001(H13)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共交通を利用される方			
	サブターゲット	公共交通事業者			
	ターゲットが抱える課題	道路によっては円滑なバスの走行に適していない場合がある。			
	ターゲットが抱える課題	公共交通の現行サービス水準の維持			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	持続可能な公共交通の実現				
事業概要	円滑なバス走行に適応すべくバス停での離発着しやすい道路環境を整える。 <b>【拡充】</b> 公共交通環境の整備。 災害並みの猛暑から市民の安全安心を守り、熱中症の発症リスクの軽減を図るため、市内複数のバス停において、都市緑化を活用した猛暑対策を行う。 保水性舗装の整備及び街路樹の植樹。 大阪府「都市緑化を活用した猛暑対策事業」を活用して実施。(10/10補助)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	公共交通の確保・維持・改善				アウトプット (活動結果)	各種要望に対し、適切に処理する。				インプット (活動)	公共交通事業者等から改良要望等受付			
	指標説明	バスの走行環境に対する市民・バス事業者等の満足度				各種要望に対する対応率				改良要望等の受付件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標													
	指標数値	単位	%	単位	%	単位	%	単位	件						
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	80	80	80	80	100	100	100	100	2	2	3	8		
達成度	75%				0%				0%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.28
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,871	1,571	2,187		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,871	1,571	2,187		
	物件費計	5,120	28,720	96,198	106,030	90.7%
	歳出計	7,991	30,291	98,385		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	21,287	30,000	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	21,287	30,000	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,120	28,720	74,911	76,030	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度は、夏場にバス停で待たれている利用者の暑熱対策として、大阪府の補助金を活用し、3箇所のバス停で上屋や保水ブロックなどによる改修工事を行った。</p> <p>また、令和5年度に実施予定の猛暑対策バス停について、設計委託業務を行い次年度発注に向けた関係部署との調整などを行った。</p>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度も、夏場のバス停で待たれる利用者の暑熱対策として、大阪府の補助金を活用しバス停の改修を予定しており、公共交通の環境整備を進め、利用者の利便性向上に寄与する。

事務事業名称	公共交通利用促進(モビリティ・マネジメント)事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名	5-1.公共交通環境の整備									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	都市・地域総合交通戦略要綱				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全世代の市民、来訪者			
	サブターゲット	市内で営業している公共交通事業者、企業など			
	ターゲットが抱える課題	公共交通利用者の減少による、公共交通網の減便や廃止などが利用者の利便性に影響を及ぼす。			
	ターゲットが抱える課題	公共交通の利用者の減少は交通事業者の収益を減らすなど、経営に影響を及ぼすため、運転手不足などの慢性的な課題解消が難しくなり、更なる減便や廃止が進むだけでなく、その他のサービス低下も懸念される。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	みんなで交通について考え、支えていくことで、将来も公共交通網が維持され、外出しやすい環境が整った状態。				
事業概要	過度に自家用車に依存することなく、多様な交通手段を選択することができるように、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通の利用を促進し、持続可能な交通機能を確保する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	イベント参加後に、参加者の公共交通を利用する回数が増える。	アウトプット (活動結果)	公共交通利用促進イベントの実施に市民等が参加する	インプット (活動)	ひらかた交通タウンマップの更新及び広く市民へPRする							
	指標説明	アンケート調査による電車やバスに乗る回数が増えた人の割合 【算出式:アンケート調査にて「電車やバスに乗る回数が増えた」と回答した人数/アンケート回答者数×100】	公共交通利用促進イベントの参加者数	ひらかた交通タウンマップを使った公共交通利用促進イベントの実施回数									
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標	単位	%	増加することが良いとされる指標	単位	回						
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	40	40	40	40	600	600	600	600	2	2	2	2
	実績	0	29.40	25		96	417	390		1	1	1	
達成度	63%				65%				50%				

3. 人員体制

	(人)
	R4実績
正職員	0.43
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,519	4,321	3,359		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,519	4,321	3,359		
	物件費計	1,150	1,185	1,185	1,486	79.7%
	歳出計	4,669	5,506	4,544		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,150	1,185	1,185	1,486	

## 5. 総括的分析

総括的分析	例年、イベントはバススタンプラリーのみだったのが、令和4年度は担い手育成を目的に新たにバスバックヤードツアーを開催することができ、子どもとその保護者に楽しみながらバスの重要性を知ってもらおうツアーを実施することができた。アウトカム指標については、外出機会が回復傾向にあるとはいえ、コロナ禍による新しい生活様式の影響もあると推測される。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	公共交通の利用促進に向けたイベント、啓発を強める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 338

事務事業名称	交通対策協議会補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	1967(S42)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	枚方市交通対策協議会補助金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	枚方市交通対策協議会					
	サブターゲット	公共の場を通行する市民					
	ターゲットが抱える課題	交通対策協議会は、法令により設置を各市町村に設置が促されている。					
	ターゲットが抱える課題	交通対策協議会の活動には経済的な負担がある。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通対策協議会への支援を行うことにより協議会の取り組みが充実し交通事故のない社会が実現している。						
事業概要	校区コミュニティ、地元自治会、地域団体と連携し各種交通安全啓発を行う。 1. 春・秋の全国交通安全運動 2. 交通安全大会…枚方市交通安全市民大会 3. 交通安全立看板の設置等						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																											
		交通対策協議会への支援を行うことにより協議会の取り組みが充実し交通事故のない社会が実現している。	交通対策協議会の活動活発化により、市民が交通安全に関して触れる機会が増える。	交通対策協議会の啓発活動に対し、補助金にて支援する。																																										
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数	交通対策協議会が実施している啓発事業に対する参加者数	交通対策協議会が実施している交通安全対策の啓発事業件数																																										
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,100</td> <td>1,050</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>1,080</td> <td>1,088</td> <td>1,173</td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	1,150	1,100	1,050	1,000	1,080	1,088	1,173		<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>9,600</td> <td>10,479</td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	12,000	12,000	12,000	12,000	0	9,600	10,479		<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>4</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	9	9	9	9	0	4	6	
	単位	件																																												
	R2	R3	R4	R5																																										
1,150	1,100	1,050	1,000																																											
1,080	1,088	1,173																																												
単位	人																																													
R2	R3	R4	R5																																											
12,000	12,000	12,000	12,000																																											
0	9,600	10,479																																												
単位	件																																													
R2	R3	R4	R5																																											
9	9	9	9																																											
0	4	6																																												
達成度	88%				87%				67%																																					

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,233	2,200	1,172		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,233	2,200	1,172		
	物件費計	10,235	9,203	9,784	10,972	89.2%
	歳出計	12,468	11,403	10,956		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	10,235	9,203	9,784	10,972	

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきたことから、春と秋の全国交通安全運動のパレードや、小学生の登下校時の立番指導を実施し、登下校時に注意する交通安全マナーやモラルの啓発を実施することができた。</p> <p>また、交通啓発の質を維持するため、交通対策協議会校区支部を通じて、交通安全啓発チラシを配布する等、ルールやモラル教育の徹底を図った。</p>
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、様々な交通安全啓発活動を継続して実施する。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 350

事務事業名称	枚方交野交通安全協会補助事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	不明	年度	～		年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	枚方交野交通安全協会補助金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	枚方交野交通安全協会					
	サブターゲット	公共の場を通行する市民					
	ターゲットが抱える課題	枚方交野交通安全協会が実施する交通安全指導を含めた交通安全の啓発に関する取り組みについては、経済的な負担がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通安全の啓発に関する連携を行うことにより、市民の交通安全に対する意識が向上し、事故のない社会が実現できている。						
事業概要	枚方警察署・交野警察署と連携し各種交通安全啓発活動(①各種交通安全運動広報啓発活動②各種交通安全教育活動③市民参加による交通安全行事④交通安全功労者等表彰等)を行う。						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		交通安全の啓発に関する連携を行うことにより、市民の交通安全に対する意識が向上し、事故のない社会が実現できている。				補助金による、各種活動の活発化により、市民が交通安全に関して触れる機会が増える。				枚方交野交通安全協会の各種交通安全啓発活動に対し、補助金にて支援する。			
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数				各種啓発事業に対する参加者数の合計				枚方交野交通安全協会が実施している交通安全啓発事業件数			
		単位		件		単位		人		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1,150	1,100	1,050	1,000	2,800	2,800	2,800	2,800	33	33	33	33
実績	1,080	1,088	1,173		0	7	291		0	1	6		
達成度	88%				10%				18%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00



(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,153	2,121	1,172		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,153	2,121	1,172		
	物件費計	827	882	1,161	2,900	40.0%
	歳出計	2,980	3,003	2,333		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	827	882	1,161	2,900	

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染状況に落ち着きが見られたことから、感染対策を取りながら春と秋の全国交通安全運動の啓発パレードを実施するとともに、交通事故犠牲者慰霊碑の清掃と献花も実施したが、その他の啓発イベントは中止となった。</p> <p>また、交通安全協会が年9回発行する広報誌で、交通ルールやマナーの周知啓発を行った。</p>
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことから、次年度からは関係団体と協議の上、新しい生活様式の定着も勘案し、効果的な交通安全啓発イベントの方法を検討し、実施していく。</p>

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 886

事務事業名称	交通対策課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	交通対策課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	交通対策課所管事務の分担			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通対策課所管事務の円滑な執行				
事業概要	交通対策課の予算及び決算に関する事務、物品の契約及び購入に関する事務、文書の收受、発送及び整理、保管に関する事務、各委託事業、補助金等の支出及び使用料の調定に関する事務を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	6,779	6,678	6,250		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,779	6,678	6,250		
	物件費計	576	296	446	957	46.6%
歳出計		7,355	6,974	6,696		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		576	296	446	957	

## 5. 総括的分析

総括的分析	職員間での業務の振り分けを、効率的・効果的に実施でき、円滑に事務処理を進めることができた。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、適切な事務処理を維持していく。